

読書のすすめ

テーマ

「読みやすいエッセイ」

古くは『枕草子』、最近では有名芸能人の著作が話題の「エッセイ」。数あるエッセイの中から、楽しく読める担当者オススメの三冊をご紹介します。

『子どもお悩み相談会』 角田光代 他(中央公論新社)

7人の「悩みの達人」が子どもの落ち込みがちなお悩みに真剣に「迷回答」します。あなたのモヤモヤした心が少し軽くなるような「名回答」があるかもしれません。



『時をかけるゆとり』 朝井リョウ(文藝春秋)

「ゆとり世代」が「ゆとり世代」を見た、切なさとおかしみがあふれる朝井リョウさんのエッセイ。ご紹介したのは「ゆとり」シリーズの第一弾。第二弾、第三弾も面白く読めますのでぜひ。



『思わず考えちゃう』 ヨシタケシンスケ(新潮社)

読むとクスッとして、「わかる!」となって、ちょっぴりイラッ(!?)とするエッセイ。お話ごとにヨシタケさんのイラストがあるので、一緒に楽しみながら読んでみてください。



とっておきの一冊を紹介します

私が紹介する本は、「夜が明けたらいちばんに君に会いに行く」という本です。この本は、ある事情で優等生を演じている茜とクラスの人気者で自由奔放な青磁の泣ける恋愛小説です。高校2年生になった茜は、となりの席になった青磁にはつきりと、「きらい」と言われてしまい、ショックを受けます。でも、茜の死にかけの心救ったのは青磁でした。二人の心の距離はだんだんと近づいていきまし。しかし、茜と青磁には人には言えない秘密がありました。茜は青磁に秘密を話しますが――。

この本の魅力は登場人物の気持ち。私たちにうまく伝わってくることです。特に一番最後のシーンの、茜の真つすなでされば青磁を蝕む不安や恐怖を一つ残さず消し去ってあげたい。そばにいて「せて」という言葉で、茜の青磁への想いが伝わってきて、思わず涙してしまいます。長い本が苦手という人も、気軽に楽しめるので、ぜひ読んでみてください。



著：汐見夏衛（スタート出版）

夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く



とき読書っこクラブ
泉中学校1年
加藤 葉奈さん

土岐市図書館 ☎55-1253

6月の休館日

3日、10日、17日、
24日の月曜日、
28日(金)
※変更があった場合は、図書館HPやTwitterでお知らせします。

開館時間
▶火～金曜日
10:00～19:00
▶土・日曜日、
祝日
10:00～17:00

利用登録情報の更新にご協力をお願いします

利用者情報を正確なものにするため、定期的な確認を実施します。登録から5年以上*が経過した方は、図書館で更新の手続きを行ってください。6月1日から更新を開始します。

※令和6年度に限り、誕生日が6月以降の方が対象です。

更新方法 ご自身の誕生月に、身分証明書(免許証、保険証など)を持ってご来館ください。

有効期限 更新日から5年